
バンジージャンプの罭

光鷹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バンジージャンプの罖

【Nコード】

N0187B

【作者名】

光鷹

【あらすじ】

あなたはマナーとルールを守ってバンジージャンプをしていますか？

(前書き)

警告

無暗なバンジージャンプは死を招きます。

バンジージャンプはルールとマナーを守って行いましょう。

人類が異星人との交流を始めて十数年。

私も機会があつて地球に程近い

「アマン星」

に旅行に行く事にした。アマン星は平均雨量が全体的に高く、星の大半は熱帯性気候であつた。アマン星の総合宇宙空港から飛行機を乗り継ぐこと3時間、私はアマン星の都市

「ツリヴォリー」

へと辿り着いた。

不思議な事にこの都市には日本語という所の

「釣り堀」

が大量に存在していた。

もつとも、ツリヴォリーの釣り堀は超大規模というべき物から学校の池サイズまでの様々な大きさの釣り堀が存在し、その総面積は居住区の数倍にもなるという。ツリヴォリーの住民は黒人を更に一層筋肉隆々にした感じの人々である。

彼らの主な仕事は釣り堀関係の仕事と観光客の案内である。

私も、三十路を超えて数年といった感じのがつちりとした男に案内を頼んだ。まず説明されたのが、『ツリヴォリーでの注意事項』である。

釣り堀では走らない、ふざけない、制御施設に入らないといった基本的な注意事項のなかに一つ、気になる注意事項があつた。

『ツリヴォリーにはバンジージャンプはございません』という注意事項だ。

案内役に話を聞くと、

「これを守らない為に多数の地球人が死んでいった」と言う。私は

「バンジージャンプと間違えるような物があるのですか」

と問いた。

案内役はある場所を指指した。

その場所には太縄のロープがあり、一方は輪に、もう一方は近くの杭に結ばれていた。

「バンジージャンプでないのなら何ですか」と問いた。

その時、一人の地球人が太縄のロープを使ってバンジージャンプを始めた。

現地の人々は止めようと急いだが、一歩間に合わずに地球人は飛び下りてしまった。

その下は流れが穏やかな水面で、飛び下りた場所からの高低差はさほど無かった。

現地の人々が縄を引き上げると、地球人は巨大な魚となって帰ってきた。

「あそこは超巨大ピラニアの釣り堀だ」
案内役はこう答えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0187b/>

バンジージャンプの罖

2010年12月11日15時28分発行